

羅臼町議会だより

しれとこ



うに漁(1月~6月)

平成20年

第117号

2月10日

第4回定例議会	2
病院運営調査特別委員会報告	3
決算認定	4~5
一般質問	6~7
現地視察	8

平成19年 第4回 定例議会

十二月十九日、
第四回定例議会が
開かれた。

町長行政報告

- 漁船の拿捕について
- 病院運営について
- 人事院給与勧告の取扱い
- 漁獲高について

補正予算(抜粋)

一般会計

歳入

分担金 七九万円
道補助金 二六二万円
寄付金 一四〇万円
繰越金 三九四万円
雑入 三七万円

歳出

○総務費
まちづくり基金積立金 一四一万円
修繕費 五五万円
いきいき地域提案型事業補助金 五一万円

○民生費

修繕費 三八万円
ひとり親家庭等医療費扶助費 五五万円
特別会計繰出金 二二七万円

○農林水産業費

畜産環境整備事業分担金返還金 二二万円
負担金・補助金 三一五万円

国保特別会計

歳入

国民健康保険税 一〇五万円

国庫支出金 三六万円
療養給付費交付金 二二一万円

道補助金 五万円

他会計繰入金 一六六万円

歳出

療養諸費 二六九万円
出産育児諸費 一七五万円
老人保健拠出金 三一万円

介護特別会計

歳入

介護保険料 一八三万円
国庫支出金 二四二万円
支払基金交付金 三〇〇万円

歳出

道負担金 一二一万円
他会計繰入金 一二一万円
介護サービス等諸費 一八万円

水道事業会計

歳入

出資金 二二万円
企業債 四、一〇〇万円

歳出

企業債償還金 四、一二二万円

公有水面埋立てについて

共栄町四二二番地

二〇・五一㎡

人事案件

人権擁護委員

羅臼町麻布町

石黒 榮子氏

(任期)

平成二十年四月一日～

平成二十三年

三月三十一日

意見書

- ・「森林環境税(仮称)」の導入を求める意見書
- ・第二期地方分権改革にあたり地域間格差の解消を求める意見書
- ・割賦販売法の改正を求める意見書
- ・灯油等石油製品価格の引下げを求める意見書



病院運営調査特別委員会報告

本委員会は、本町の医療体制のあるべき姿について、住民の要望、医療制度の実態、病院の経営状況、また本町の財政状況等を踏まえ、九月の間報告以降も議論を重ねてきた。

現在、国保病院は、国の医療制度改正に伴う診療報酬の減、看護師の不足による「入院患者の受け入れ停止」、また「診療時間外の救急患者の受け入れ停止」と診療体制の縮小を余儀なくされ、多くの住民に不安と不便を与えている。

その中で町は、「医師や看護師確保の困難性」、「本町の財政状況」を理由に来年四月から、国保病院の「診療所化」と、それに伴い引続き「診療時間外の救急患者の受け入れ停止」を提案している。本委員会は、国保病院

の「診療所化」については、現在の経営状況等を考え、止むを得ないと判断したところであるが、診療体制については「病院」、「診療所」を問わず、本町の持つ地理的条件や産業形態などを考慮し議論した結果、入院病床を持ち、二十四時間の救急患者受け入れが可能な医療施設であるべきと結論に達した。しかしながら本委員会が望む診療体制実現のためには、看護師の確保や本町の財政状況、また現状の医療制度を考えたときその体制は整っていない。

町は、今後地域医療に対する国・道の指針や医療制度の変更、また本町の財政状況等も勘案しながら、引続き住民の安全、安心のため、一日も早く本委員会が求める医療体制を目指しながら、当面、

最優先として二十四時間の救急患者の受け入れの実現に向けて、医療現場と意思の疎通を図りながら、その可能な体制作りに取り組む努力を求めるものである。

今後は診療体制の不安等により町の人口の減少につながることはないよう、予防医療対策や、福祉・介護施策についても医療現場と保健福祉、介護との連携を一層強め、その対策を早急に住民に周知し、不安を取り除くための努力をすること。また病院改築も計画されているが、その規模、場所、時期など、住民の意思を確認し公設民営化も視野に入れながら、今後の医療体制や運営にあたって医療スタッフ、行政、住民が一体で議論していくことを求めるものである。

人事案件

選挙管理委員会委員
及び補充委員選挙

(委員) 大沼 勝

岡本 邦子

杉本 千早

蝦名 和子

(補充委員)

第一順位 白坂 雄一

第二順位 高津 寛之

第三順位 池田 幸世

第四順位 中谷 善子

(任期)

平成十九年

十二月二十六日

平成二十三年

十二月二十五日

第四回臨時会

町長行政報告

- 拿捕漁船の乗組員の釈放について
- 定置部会からの寄付採納について

補正予算(抜粋)

一般会計

歳入

繰越金

一〇〇万円

歳出

福祉灯油購入費扶助

一〇〇万円

意見書

- ・ 灯油等石油製品の価格引き下げの緊急対策を求める意見書
- ・ 地方の道路整備と道路特定財源に関する意見書

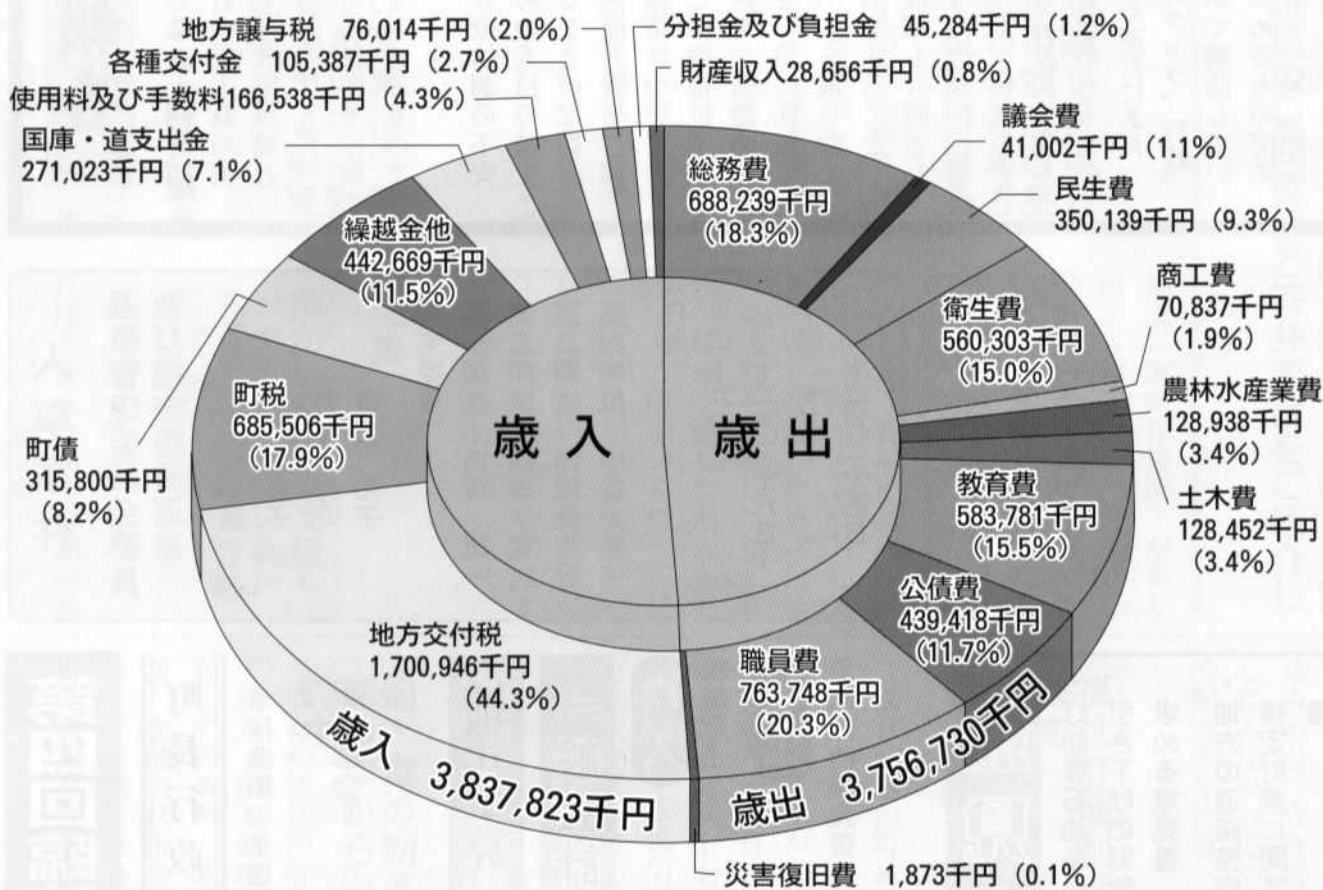
財政は

平成18年度 決算特別委員会報告

どうなってるの？

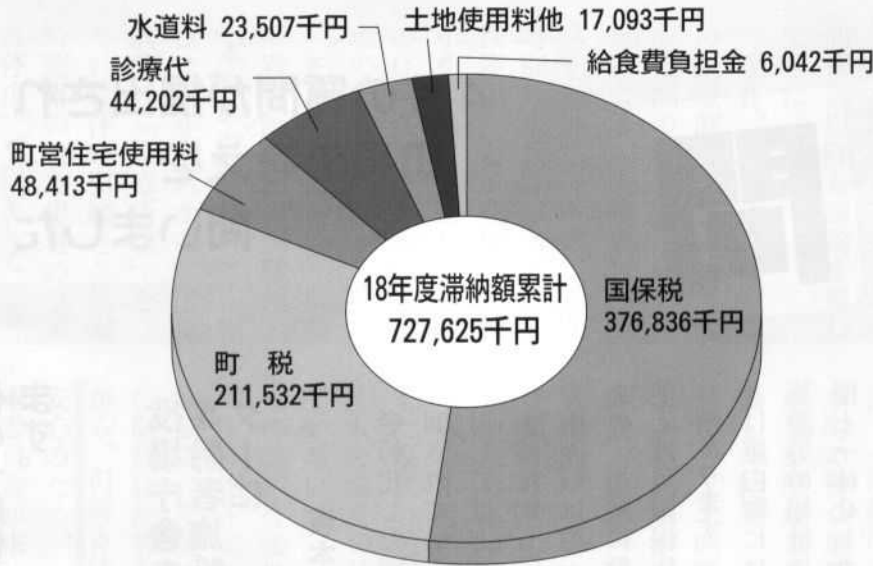
議会に報告

厳しい財政状況の中で自主財源の確保に全力を傾注するとともに、限られた財源の中でより事業効果の高い施策が必要であり、なお一層の行財政改革を推進し住民の民生安定に寄与できる財政運営が求められる。その実現に向け本委員会は、当町の財政状況を町民と「共有化」するために予算、決算における現状の姿を知らしめる羅臼町財政パンフレット等を作成し全住民に配布し、財政公開を積極的に行うことを希望する。また歳出削減には限度があることを考慮し、新たな自主財源確保に向け、羅臼町産業関連調査を踏まえ、当町の持つ豊かな水産資源や観光資源を有効かつ最大に活用していくための施策や研究を予算化し、具体化しながら地域経済の活性化を図ることが、自立の町づくり戦略上重要な課題と考える。各会計決算は全員一致で認定すべきと決定した。

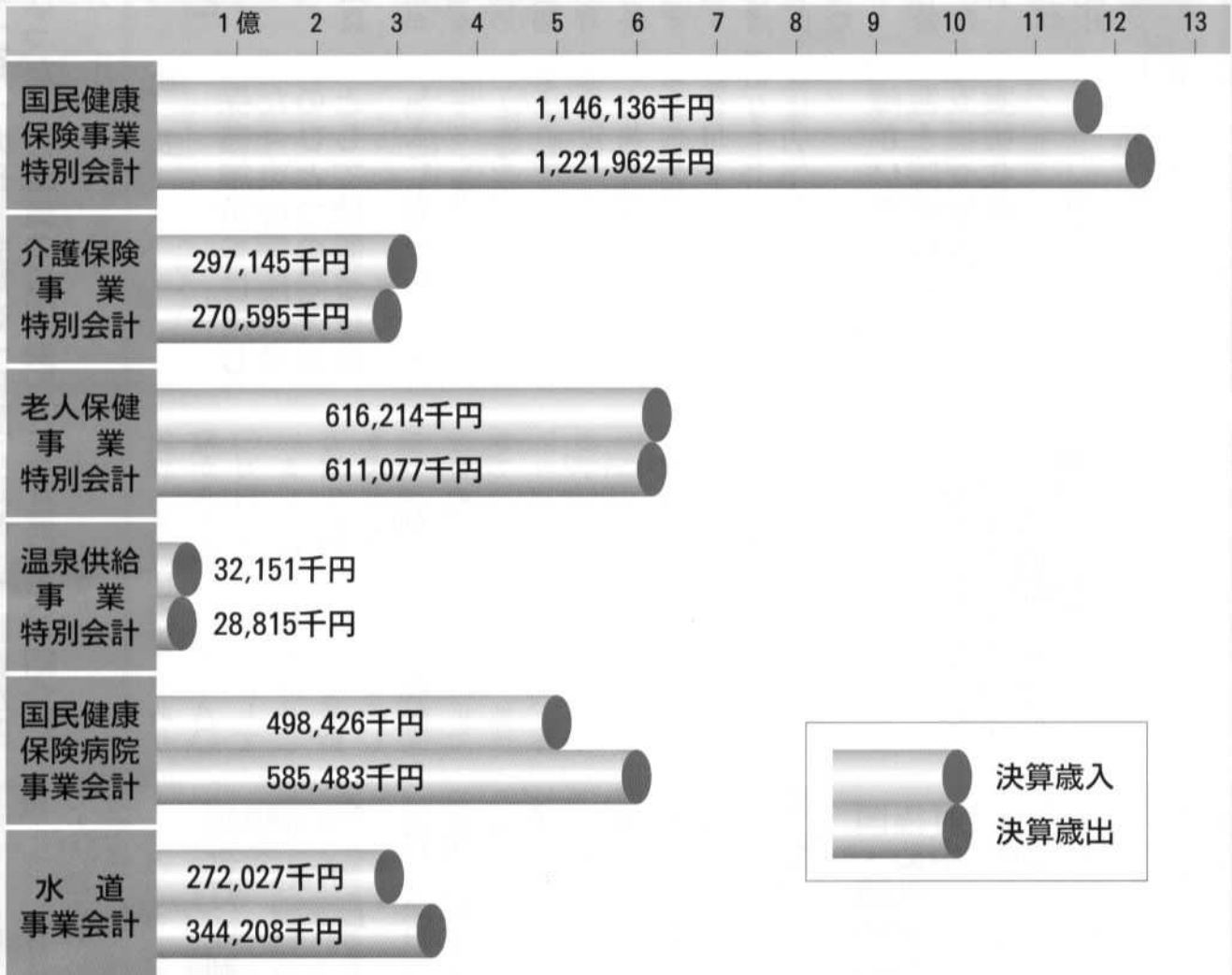


(歳入) 3,837,823千円 - (歳出) 3,756,730千円 = (差引残額) 81,093千円

町の



18年度滞納額累計



決算歳入
 決算歳出

平成18年度特別会計・企業会計決算

4件の質問が提出され 町長の考えを 問いました

質 問

十二月定例議会は十二月十九日、会期を一日間と定め、二議員が四件の一般質問を行なった。各議員の質問要旨と答弁要旨をご紹介します。

役場庁舎を病院と 高齢者施設のセン ターに

坂本 志郎 議員

老朽化した病院の改築が計画されているが、役場を活用してはどうか。病院の床面積は約五〇〇坪、役場の床面積は約一、〇〇〇坪あり、単純に役場の半分を使えば現国保病院がスッポリ納まります。残ったスペースは羅臼町には無い高齢者施設等の福祉施設とし、医療と一体化した運営を行なうべきと考えます。

役場機能は現病院に移設し、議会は公民館又は体育館で行ないます。

実行に移すには制度上の問題や費用など様々な検討が必要ですが、町民の意見も聞きながら検討すべきと考えます。

町 長

保健施設を併用し た今後の病院改築 のひとつの考え方 として位置づける

過去にも役場庁舎を病院とすることで検討してきたこともあるが、費用問題等もあり断念したという経緯があります。

役場庁舎は大きいので、多目的に保健施設等の機能を併用した今後の病院改築のひとつの考え方として位置付けたい。

障がい者施設の設 置と障がい者活動 支援センターの充 実強化を

坂本 志郎 議員

羅臼町には障がい者のための施設がありません。標津・中標津・別海には授産

施設（共同作業所）があり

町から年間七〇〇万〜八〇〇万円の委託費で運営しています。羅臼町は年間八二万円です。協同に障がい者活動支援センターとして委託しているが、費用や人的配置を含め、障がい者に対応できていません。今後、他地区の施設を退所したり、養護学校を卒業して地元へ帰ってくる障がいを持つ人達の施設の確保が必要です。

早急に障がい者活動支援センターの充実強化を実行すべきと考えます。

町 長

障がい者活動支援セ ンターの強化に向け て、人的配置を含め 検討している

町としての責任もあり、民間委託も含め検討が必要ですが、活動支援センター

については関係の方々の要請もあり、今後施設を退所した人達の対応を含め、人的配置等を検討している。

福祉灯油制度の実 現を

坂本 志郎 議員

過日、羅臼町における福祉灯油制度実施の要望をしたところですが、道内で実施決定九十一自治体、検討中の自治体八十七で、灯油高騰に対する低所得者への、灯油代助成制度の実施をすべきである。

町 長

国・道の制度を見 極めながら現在検 討中

現在、国も制度として検討しているが、北海道の状況、燃油の状況を見極めながら、実施する場合の対象者の範囲を含め現在検討中である。



平成19年12月定例議会

一

般

財政健全化と職員数、人件費削減について

高島 讓二 議員

平成二十年度決算より新法「地方財政健全化法」がスタートします。新法に当てはめると本町の会計は一般会計と病院、水道の事業会計が連結決算となる。

平成十八年度の決算は病院の不良債務、約六億六千万円が足を引っ張り連結赤字比率が二十四、七％と限度の三十％に近い数値である。「財政再生団体」一歩手前だが、脱却するための施策はあるのか。

総務省編さんの平成十七年度「全国市町村財政比較分析表」中の職員数の適正度では本町は全国平均より約二倍の人数となっており、現在、約五十人多い事になる。また、人口一人あたりの人件費、物件費は全国平均より約十数万円多い額となっている。

フレックスタイムやワークシェアリングをとり入れる等、人件費を圧縮し、その分を病院に繰り入れるべきである。

町長

歳出削減と歳入の確保を進める。職員数は適正化に努める

「早期健全化団体」から脱却するため歳出削減の行政改革を推進し、歳入の確保をしっかりと進める。

税の滞納については一層の徴収強化を図る。

職員数については、どの部門で他自治体と差があるかを比較し適正化に努める。

用語解説

◆地方財政健全化法

平成二十年度決算から適用となり、四指標の公表により財政の健全化を客観的に判断出来るよう義務づけられる。

◆財政再生団体

夕張市の破綻と同じ。新法での四指標の基準値を超えた場合、国の管理下に置かれる。

◆早期健全化団体

四指標の基準値内だが自主的改善努力が求められる。本町は四指標のうち、連結実質赤字比率の数値が高く、これにあてはまる。

※四指標

- ① 実質赤字比率
一般会計の赤字に関する指標
- ② 連結実質赤字比率
病院、水道等合わせたすべての会計の赤字に関する指標
- ③ 実質公債費比率
地方債の返済負担に関する指標
- ④ 将来負担比率
病院、水道等を含めた一般会計の実質的負債に関する指標

一般質問と答弁は要約されています

議会だよりでは、質問、答弁の内容を要約して載せています。質問、答弁の全文について詳しくお知りになりたい方は、町役場総務課までお問い合わせ下さい。



議会の動き

11月

- 1日 議員研修会（中標津町）
- 4日 中川義雄内閣府副大臣就任を祝う会
（根室市） 議長
- 5日 第8回病院運営調査特別委員会
- 7日 第5回決算特別委員会
- 21日 第9回病院運営調査特別委員会
総務民生常任委員会町内視察
- 29日 第10回病院運営調査特別委員会
衛生管理型市場・蓄養施設竣工式
副議長
- 30日 第51回町村議会議長全国大会（東京都）
議長

12月

- 1日 グループホーム開所式 総務民生委員長
- 7日 衛生・消防・広域議会（標津・中標津）
- 10日 議会運営委員会
- 12日 経済文教常任委員会
- 13日 総務民生常任委員会
- 17日 議会運営委員会
- 19日 全員協議会
第4回定例会
- 25日 議会運営委員会
全員協議会
- 27日 第4回臨時会

平成20年1月

- 4日 消防出初式 議長
- 7日 成人式
議会だより編集委員会
- 8日 羅臼救難所出初式 議長
- 11日 議会だより編集委員会

報告

所管事務調査 総務民生常任委員会

羅臼町社会福祉協議会と意見交換

●視察現場

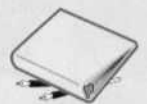
福寿園
グループホーム（しおさい）
草楽園

当委員会は、十一月二十一日（水）、福寿園の現状視察と、建設中のグループホーム「しおさい」の進捗状況を確認したあと、草楽園において、社会福祉協議会事務局長加藤氏にしくみや現状の問題点などを聞き、意見交換をしました。

意見交換の中で、羅臼町の福祉に対する取り組みはまだまだ充分といえるものではなく、今後より一層の努力が必要であることを確認しました。社会福祉協議会では、役割を理解いただき、町民のさらなる協力を求めています。



編集を終えて



平成二十年が始まって、早いもので一ヶ月以上がたちました。

毎日厳しい寒さが続いておりましたが、同じように羅臼町財政も本当に厳しい状況です。

私たち議会も羅臼町の厳しい冬の時期を乗り越え、春を迎えられるよう努力してまいります。そしてこの議会だよりを通じて皆さんにお伝えできればと思っております。よりわかりやすい紙面を心がけてまいりますので、ご意見をお寄せ下さい。

（湊屋）

羅臼町議会「ローナー」ホームページ

議会だよりは羅臼町のホームページからもご覧頂けます。

アドレスは下に明記してあります。たくさんの皆様のアクセスをお待ちしています